

要件事項	<p><海上業務> C F Sから輸入貨物を引き取る際の手続きのシステム化</p>
機能概要	<p><変更前仕様> C F Sから輸入貨物を引取る際の手続きはシステム化されておらず、各C F Sがそれぞれ作成した様式の「搬出申込書」に必要事項を記載してF A X送信している。</p>
	<p><変更後仕様> C F Sから輸入貨物を引き取る際、引取を依頼する利用者がC F Sに対して「搬出依頼を送信する業務」及びC F Sから「利用者からの搬出依頼に対して回答を送信する業務」を新設する。また、C F Sにて搬出依頼の受付時間を制御する利用者設定業務を新設する。</p>

1. 変更内容

(1) オンライン業務の新設

(A) 「輸入C F S引取予定情報通知 (R C S 0 1)」業務

(a) 業務概要

C F Sから輸入貨物の引取りに先立ち、引取り側から引渡し側へ引取り予定情報を通知する。

(b) 入力者

通関業、保税蔵置場、船会社、船舶代理店、C Y、N V O C C、海貨業

(c) 処理内容

<登録時の処理内容>

- ①入力されたB/L番号に対するI D通知枝番を払い出す。(「01」～「99」まで)
- ②入力されたB/L番号及び払い出されたI D通知枝番に対する貨物引取DBを作成する。
- ③入力されたB/L番号が貨物情報DBに存在しない状態でも業務を実施可能とする。
- ④入力された通知先に「輸入C F S引取予定登録通知情報」を出力する。
- ⑤同一のB/L番号に対して複数回業務を実施可能とする。ただし、上限を99回までとする。

<訂正時の処理内容>

- ⑥入力されたB/L番号、I D通知枝番が貨物引取DBに存在することをチェックする。
- ⑦入力されたB/L番号、I D通知枝番に対する貨物引取DBを入力内容により更新する。
- ⑧入力された通知先に「輸入C F S引取予定訂正通知情報」を出力する。ただし、「輸入C F S引取確認情報通知 (R C T 0 1)」業務が実施された情報に対する訂正は不可とする。
- ⑨本業務を実施した利用者のみ、訂正を可能とする。
- ⑩通知先を訂正した場合は、変更前の通知先利用者に「輸入C F S引取予定削除通知情報」を出力する。
- ⑪「輸入C F S引取予定訂正通知情報」において訂正で変更された訂正項目または訂正項目がある行の項目ラベル左側に「*」を出力する。

<登録・訂正時の共通処理内容>

- ⑫入力されたB/L番号にかかる貨物情報DBに対して、本業務が行われた旨を登録し、「貨物情報照会 (I C G)」業務の業務履歴に出力する。なお、業務実施時に入力されたB/L番号にかかる貨物情報DBが存在しない場合は、業務履歴に出力しない。
- ⑬通知先に入力した利用者コードに対して「輸入C F S引取予定情報受付時間登録 (U C T)」業務で受付開始・終了時刻が設定されている場合、受付時間内であることの判定を行い、受付時間外の場合はワーニングを出力する。

コード	内容	処置
W0001	引取予定情報は通知されたが、受付時間外であるため、翌営業日の受付となる。	引取予定年月日を確認する。

- ⑭業務実施後、貨物引取DBを引取予定年月日から一定期間(日曜・祝日を除く7日)経過後、削除する。(R C T 0 1業務を必須としないため。)なお、同一B/L番号に対してI D通知枝番が複数払い出されている場合、各I D通知枝番の保存期間は同一となり、登録されている情報の中で最長の保存期間となるものを削除日とする。
- ⑮業務実施時の貨物情報DBの有無を処理結果通知に出力する。

(B) 「輸入C F S引取予定情報通知呼出し (R C S 1 1)」業務

(a) 業務概要

R C S 0 1業務に先立ち、入力されたB/L番号にかかる貨物情報または、B/L番号、I D通知

枝番にかかる貨物引取情報のうち、RCS01業務に利用しうる情報を呼び出す。

(b) 入力者

通関業、保税蔵置場、船会社、船舶代理店、CY、NVOCC、海貨業

(c) 処理内容

- ①入力されたB/L番号が貨物情報DBに存在すること、または入力されたB/L番号、ID通知枝番が貨物引取DBに存在することをチェックする。
- ②B/L番号のみ入力した場合、B/L番号にかかる貨物情報DBから情報を呼び出す。
- ③B/L番号、ID通知枝番を入力した場合、貨物引取DBから情報を呼び出す。
- ④呼出結果画面に通知先に対して「輸入CFS引取予定情報受付時間登録（UCT）」業務で登録された「保税地域コード」、「保税地域名」、「記事」を出力する。
- ⑤通知先コードが入力されていない場合、入力されたB/L番号に対する貨物情報が保税蔵置場（CYを除く）に蔵置中の場合は、貨物情報DBに登録されている保税地域の利用者コードを通知先コードに出力する。

(C) 「輸入CFS引取確認情報通知（RCT01）」業務

(a) 業務概要

CFSから輸入貨物の引取りに先立ち、引渡し側から引取り側へ引取り予定を確認した旨を通知する。

(b) 入力者

保税蔵置場、船会社、船舶代理店、CY、NVOCC

(c) 処理内容

<登録時の処理内容>

- ① 入力された通知先に「輸入CFS引取予定確認情報」を出力する。

<訂正時の処理内容>

- ②入力された通知先に「輸入CFS引取予定確認訂正情報」を出力する。
- ③「輸入CFS引取予定確認訂正通知情報」において訂正で変更された訂正項目または訂正項目がある行の項目ラベル左側に「*」を出力する。

<登録・訂正時の共通処理内容>

- ④入力されたB/L番号、ID通知枝番が貨物引取DBに存在することをチェックする。
- ⑤入力されたB/L番号、ID通知枝番に対する貨物引取DBを入力内容により更新する。
- ⑥入力されたB/L番号にかかる貨物情報DBに対して、本業務が行われた旨を登録し、ICG業務の業務履歴に出力する。なお、業務実施時に入力されたB/L番号にかかる貨物情報DBが存在しない場合は、業務履歴に出力しない。
- ⑦業務実施後、貨物引取DBを入力された引取可能年月日から一定期間（日曜・祝日を除く3日）経過後、削除する。引取可能年月日が入力されなかった場合はRCS01業務で入力された引取予定年月日を起算日とする。なお、同一B/L番号に対してID通知枝番が複数払い出されている場合、各ID通知枝番の保存期間は同一となり、登録されている情報の中で最長の保存期間となるものを削除日とする。
- ⑧RCS01業務で入力した通知先の利用者以外でも、業務実施可能とする。
- ⑨業務実施時の貨物情報DBの有無を処理結果通知に出力する。

(D) 「輸入CFS引取確認情報通知呼出し（RCT11）」業務

(a) 業務概要

RCT01業務に先立ち、入力されたB/L番号、ID通知枝番にかかる貨物引取情報のうち、RCT01業務に利用しうる情報を呼び出す。

(b) 入力者

通関業、保税蔵置場、船会社、船舶代理店、CY、NVOCC、海貨業

(c) 処理内容

- ①入力されたB/L番号及びID通知枝番が貨物引取DBに存在することをチェックする。
- ②入力されたB/L番号、ID通知枝番にかかる貨物引取DBから情報を呼び出す。

(E) 「輸入CFS引取予定情報受付時間登録（UCT）」業務

(a) 業務概要

引渡し側が引取予定情報の受付開始時刻と受付終了時刻を設定する。

(b) 入力者

保税蔵置場、船会社、船舶代理店、CY、NVOCC、NACCSセンター

(c) 処理内容

- ①業務実施利用者に対する貨物引取受付管理DBを作成する。
- ②登録された情報の上書き訂正及び削除を可能とする。
- ③処理内容については別紙「別紙1_UCT業務処理イメージ」参照

(F) 「輸入CFS引取予定情報受付時間登録呼出し(UCT11)」業務

(a) 業務概要

UCT業務に先立ち、入力された利用者コードにかかる貨物引取受付管理情報を呼び出す。

(b) 入力者

通関業、保税蔵置場、船会社、船舶代理店、CY、NVOCC、海貨業、NACCSセンター

(c) 処理内容

- ①利用者コードに対する貨物引取受付管理DBが存在することのチェックを行う。
- ②入力された利用者コードにかかる貨物引取受付管理DBから情報を呼び出す。

2. 変更対象業務

<オンライン業務>

- ・「輸入CFS引取予定情報通知(RCS01)」業務
- ・「輸入CFS引取予定情報通知呼出し(RCS11)」業務
- ・「輸入CFS引取予定確認情報通知(RCT01)」業務
- ・「輸入CFS引取予定確認情報通知呼出し(RCT11)」業務
- ・「輸入CFS引取予定情報受付時間登録(UCT)」業務
- ・「輸入CFS引取予定情報受付時間登録呼出し(UCT11)」業務

3. 特記事項

(1) 個別項目

- ①貨物引取受付管理DBの初期値は設定しない。UCT業務リリース後、利用者様によるメンテナンスを想定しております。

4. 添付資料

(1) 別紙1_UCT業務処理イメージ

5. リリース予定日/サービス開始予定日

2020年03月15日(日)04:00